

記

～「よい歯元気いっぱい」図画・ポスターコンクール」表彰式～

念に写真撮影「はい、teeth！」

6月22日、南さつま市の『いにしえホール』において南薩歯科医師会主催の「よい歯元気いっぱい」図画・ポスターコンクール」の表彰式が行われました。南九州市からは、市内小・中学校合わせて1,164点の参加があり、南九州・南さつま市合わせて2,600点を超える作品の中から、6人の児童が特別賞、18人の児童が特選を受賞しました。

特別賞・特選の受賞者については、次のとおりです。（敬称略）

南九州市長賞	大丸小2年	桐木平 璃 空
南九州市長賞	松原小6年	松 永 芽 依
南九州市教育長賞	栗ヶ窪小1年	盛 迫 愛 奈
南九州市教育長賞	霜出小5年	峯 芭 あおい
川辺ライオンズクラブ賞	勝目小2年	山 内 逢 花
知覧ライオンズクラブ賞	中福良小2年	松 村 氷 毬 希
学 校 賞	顕 娃 中 学 校	
特 選	宮脇小1年	種子尾 芽 利
特 選	栗ヶ窪小1年	一 氏 遅
特 選	中福良小1年	籠 原 優 信
特 選	大丸小2年	桐木平 希
特 選	霜出小3年	内 園 花 奏
特 選	手蓑小3年	柙 川 莉 子



▲大きな賞状を手に誇らしげな子どもたち。

特 選	勝目小3年	小 宮 瑠 馨
特 選	大丸小3年	桐木平 仁 那
特 選	浮辺小4年	塗 木 理 斗
特 選	中福良小4年	山 村 悠 斗
特 選	川辺小4年	小 牧 流 碧
特 選	大丸小4年	東 園 理 叶
特 選	川辺小5年	山 下 詩 乃
特 選	大丸小5年	桐木平 藍 琉
特 選	大丸小5年	末 永 麗 桜
特 選	霜出小6年	大 坪 千 愛
特 選	松山小6年	菊 永 琴 子
特 選	大丸小6年	大 坪 栞

ボ

～SOMPO ボールゲームフェスタ in 南九州～

ールゲームって楽しいな♪

6月2日、知覧体育館ほかでSOMPOボールゲームフェスタ in 南九州が開催されました。子どもたちに日本のトップアスリート9人がボールゲームの楽しさや技術を教え、午前の部「ボールで遊ぼう！」に54組の親子、午後の部「キッズチャレンジ」では155人の児童が、サッカー・ハンドボール・バレーボール・ソフトボールについてトップ選手たちから指導を受けました。



▲子どもたちの手には当日参加したトップアスリートの選手たちのサイン入り修了証が握られていました。

幾

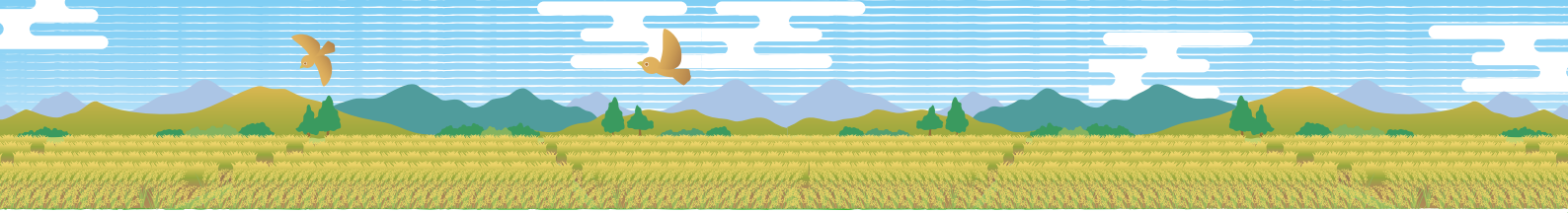
～豊玉姫神社の水車からくり～

重もの歯車が支える演目

7月9日、10日に知覧町の豊玉姫神社六月灯にて、薩摩の水車からくりが上演されました。今年の演目は日本の民話の一つ「花咲かじいさん」。舞台下を流れる川に設置された、ひとつの大きな水車を原動力として、いくつもの滑車が連動し人形たちを動かしていました。「枯れ木に花を咲かせましょう」と灰を撒き、桜が満開に咲くシーンは臨場感たっぷり、多くの人が感嘆の声を漏らしていました。



▲全国でも鹿児島にしかない貴重な文化財。犬の「ここ掘れワンワン」と喧しく鳴く声が今にも聞こえてきそうです。

**豊**

～飯倉神社お田植え祭り～ 作を願って歌い踊る

7月7日、川辺町宮の飯倉神社で、豊作を祈るお田植え祭りが開催されました。梅雨の合間の晴天に恵まれ、多くの方が訪れました。中に人が入った造り牛のユーモラスな代かき、早乙女らによる田植えの後、宮中福良自治会が棒踊りを奉納しました。棒突き役が歌に合わせてシベ竿で地面を突き、そのリズムに合わせて12人の踊り手が六尺棒を使った勇壮な踊りを披露しました。



▲棒踊りの様子。歌い手たちは豊作を願う歌(清めの雨は三度パラパラなど)を歌っていました。

稲

～(農)たべた主催の田んぼアート田植え～ 穂の筆で田んぼに描く未来

6月29日、30日の二日間、川辺町田部田にて田んぼアートの田植えが開催されました。田んぼをキャンバスに見立て、色の異なる稲を使って毎年さまざまな絵を描く田んぼアート。初日はボランティアの方々も加わり、下絵の作成や田植えを行い、2日目は子ども会や一般の家族連れ参加者が、泥まみれになりながら、楽しく田植えを行っていました。例年7月下旬～9月中旬が見頃となります。



▲30日の田植えの様子。子どもたちはふわふわの泥の感触に驚きつつも楽しんで田植えを体験していました。

心

～花いっぱい運動～ と地域にたくさんの花を

6月25日、颯娃地域のKEファーマーズ(鹿児島・颯娃青年農業者クラブ)による「花いっぱい運動」が実施されました。この運動は地域の保育園など各施設の花壇などに花を植え付け、環境美化や心豊かな農村づくりに貢献することを目的に毎年実施されています。各園が準備した花壇やプランターに肥料を入れ、園児と一緒にサルビアやマリーゴールドなどを植え付けました。



▲小さな手で一生懸命植え付けを行う園児たち。心も花も大きくなあれ。

土

～市内中学生の職場体験～ と生きる仕事を学ぶ

颯娃農業開発研修センターでは、市内の子どもたちに農業に関心を持ってもらおうと、職場体験学習の受け入れを行いました。5月28日～30日に颯娃中学校3年生4人が、職場体験学習としてさつまいもの植え付けやオクラ収穫などの作業を体験しました。生徒たちは「この体験を通して、身をもって農業や働くことの大変さ、また食の大切さを感じることができました」と話してくれました。



▲秋の大量収穫へ向けてさつまいもの植え付けを行う中学生たち。

更 ～社会を明るくする運動～ 生を支える地域のチカラ

7月は社会を明るくする運動の強調月間です。市の保護司27人は、犯罪予防の啓発運動や罪を犯した人を社会へ復帰させるため、地域でさまざまな活動をしています。7月1日、内閣総理大臣と県知事からの、犯罪のない社会を目指すメッセージを、市長へ伝達しました。また、7月初旬、頴娃・知覧・川辺の支部ごとに、登校する児童・生徒へのあいさつ運動と広報活動を行いました。



▲更生について理解を深め、それぞれの立場や地域において力を合わせられる社会へ向けて、日々活動を行っています。

県 ～共生・協働の農村づくり運動の表彰式～ 知事賞を高田村づくりが受賞

5月23日、県庁で共生・協働の農村づくり運動の表彰式があり、空き家対策や農業活性化などに取り組んだ高田村づくり委員会が最高賞の県知事賞を受賞しました。知事との記念撮影の後、代表の内匠秋夫さんは「このような名誉ある賞を頂きありがたい。高齢化・担い手不足など地域の課題はあるが、これからも地域の皆さんと手を取り合って一つ一つ取り組んでいきたい」と話しました。



▲県知事と並んで撮影する高田村づくり委員会の皆さん。

料 ～LPガス協会主催親子料理教室～ 理を通して、家族のふれあい

6月29日、知覧小学校で(社)鹿児島県LPガス協会南薩支部主催による「親子料理教室」が開催されました。この活動は「伝えよう炎の文化」をキャッチコピーに、県内各地で毎年行われています。今回の参加者は1年生とその保護者だったこともあり、初めての料理体験となった子どもたちも多く、戸惑いつつもドキドキした様子で調理に挑戦していました。また、この日はガスコンロも寄贈されました。



▲各グループに分かれて、チーズハンバーガー&フライドポテト・かぼちゃの豆乳スープ・クリームブリュレを作りました。

磨 ～第1回清水磨崖仏ワークショップ～ 崖仏造立の由来を知る

清水磨崖仏が鹿児島県指定文化財に指定されてから今年で60周年を迎えるのを記念して、6月1日に岩屋公園清流の杜で、第1回清水磨崖仏ワークショップが開催されました。九州大学の知足美加子准教授が「月輪三大梵字の秘密～空と水と英彦山修験道～」と題して、この場所にどのような目的で清水磨崖仏が造立されたのか、修験道の見地から分かりやすい説明がありました。



▲話を熱心に聞く参加者たち。このワークショップは全部で3回を予定しています。次回の開催は10月12日。お問い合わせは文化財課まで。